



平成30年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月16日

上場会社名 JMACS株式会社

上場取引所 東

コード番号 5817 URL <http://www.jmacs-j.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植村剛嗣

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 佐藤栄一

TEL 06-4796-0020

四半期報告書提出予定日 平成29年10月16日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	2,256		6		34		11	
29年2月期第2四半期								

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 18百万円 (%) 29年2月期第2四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	2.41	
29年2月期第2四半期		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	6,819	4,574	67.1
29年2月期			

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 4,574百万円 29年2月期 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		0.00		10.00	10.00
30年2月期		0.00			
30年2月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,130		210		260		170		36.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年2月期第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期及び対前年同四半期増減率については記載していません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期2Q	4,691,555 株	29年2月期	4,691,555 株
期末自己株式数	30年2月期2Q	24,604 株	29年2月期	31,838 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期2Q	4,661,478 株	29年2月期2Q	4,659,717 株

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成30年2月期第1四半期連結累計期間より、上海皆碼副电气有限公司とHONG KONG JMACS LIMITED.の海外子会社2社の重要性が増したため、同社を連結の範囲に含め連結決算に移行しました。

また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

当社グループは第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率並びに前事業年度の数値との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀の各種政策を背景に、個人消費や設備投資を中心とした内需が景気の牽引役となり、実質GDP成長率がプラス基調で推移するなど、景気は緩やかに持ち直してまいりました。

一方、海外経済は、米国や欧州の政治動向や中東情勢等の地政学リスクなど、海外には不安定な要素が多く、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

電線業界におきましては、オリンピックを控えたインフラ建設等の需要が盛り上がり、首都圏の再開発案件の増加が見込まれる中、銅電線の主要な需要部門である建設・電販部門が緩やかな伸びを見せるなど、全体としては、前年を上回る傾向で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、経営方針として、1. 攻撃こそ最大の防御である。(攻めの経営) 2. 世のため人のための事業を行う。3. スピードと技術、素早い対応という伝統を死守。を掲げ、平成29年6月1日付で国際営業部を新設し、グローバル化も視野に、マーケティング機能の拡充と、社会のニーズにマッチした製品開発と販路拡大に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,256,228千円、営業利益6,078千円、経常利益34,724千円、親会社株主に帰属する四半期純利益11,249千円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成したことに伴い、報告セグメントとして「海外事業」を新たに追加し、報告セグメントを従来の「電線事業」と「トータルソリューション事業」の2区分から、「海外事業」を含めた3区分としております。

<電線事業>

電線事業につきましては、景気が回復基調にある中、各品目が安定的に受注を確保出来たこと、その中でも特に主力の計装ケーブルが堅調に推移したことや大型案件の受注の獲得により売上高は2,221,476千円、セグメント利益は118,724千円となりました。

<トータルソリューション事業>

トータルソリューション事業につきましては、IoTやAI関係の成長分野において、市場のニーズに迅速に対応しつつ、製品開発力を強化をするため、ソフト開発エンジニアの補強とその教育に尽力し、組織強化と販路拡大に向けた体制整備に注力してまいりました。

その結果、売上高33,393千円、セグメント損失90,129千円となりました。

<海外事業>

グローバル化推進の一環として中国市場を開拓する目的でHONG KONG JMACS LIMITED. を統括会社として、平成28年6月に独資により上海皆碼嗣电气有限公司を設立いたしました。

海外事業につきましては、現地を含む人員の増員と管理体制の整備を進め、組織強化と販路開拓に向けた体制整備に注力してまいりました。

その結果、売上高1,358千円、セグメント損失22,516千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産残高は6,819,907千円となりました。

流動資産は、2,646,254千円となりました。その主な内訳は現金及び預金266,928千円、受取手形及び売掛金1,511,401千円、商品及び製品321,196千円、原材料及び貯蔵品266,455千円等です。

固定資産は、4,173,653千円となりました。その主な内訳は建物及び構築物1,099,555千円、機械装置及び運搬具184,572千円、土地1,045,837千円、投資不動産1,584,725千円等です。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債残高は2,245,295千円となりました。

流動負債は、1,258,347千円となりました。その主な内訳は支払手形及び買掛金852,573千円、短期借入金200,000千円等です。

固定負債は、986,948千円となりました。その主な内訳は長期借入金701,250千円、退職給付に係る負債107,100千円、役員退職慰労引当金147,616千円等です。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産残高は4,574,612千円となりました。その主な内訳は資本金647,785千円、資本剰余金644,092千円、利益剰余金3,222,458千円等です。

この結果自己資本比率は67.1%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、266,928千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果支出した資金は、35,471千円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益34,724千円、非資金性損益項目である減価償却費57,370千円、売上債権の減少額64,246千円、仕入債務の増加額64,148千円等による増加要因を、たな卸資産の増加額169,774千円、未払消費税等の減少額66,351千円、法人税等の支払額14,511千円等の減少要因が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は、14,679千円となりました。これは主として投資不動産の賃貸による収入33,758千円等による増加要因が、有形固定資産取得による支出14,342千円等による減少要因を上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は、67,084千円となりました。これは主として長期借入金の返済による支出21,250千円、配当金の支払額45,460千円等の減少要因によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の連結業績予想に付きましては、平成29年7月14日から発表した内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	266,928
受取手形及び売掛金	1,511,401
電子記録債権	114,383
商品及び製品	321,196
仕掛品	112,298
原材料及び貯蔵品	266,455
その他	56,176
貸倒引当金	△2,585
流動資産合計	2,646,254
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	1,099,555
機械装置及び運搬具(純額)	184,572
工具、器具及び備品(純額)	24,527
土地	1,045,837
建設仮勘定	6,361
有形固定資産合計	2,360,854
無形固定資産	
投資その他の資産	8,144
投資不動産(純額)	1,584,725
その他	219,927
投資その他の資産合計	1,804,653
固定資産合計	4,173,653
資産合計	6,819,907
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	852,573
短期借入金	200,000
1年内返済予定の長期借入金	42,500
未払金	83,342
未払法人税等	12,692
未払消費税等	2,944
賞与引当金	38,419
その他	25,874
流動負債合計	1,258,347
固定負債	
長期借入金	701,250
退職給付に係る負債	107,100
役員退職慰労引当金	147,616
その他	30,981
固定負債合計	986,948
負債合計	2,245,295
純資産の部	
株主資本	
資本金	647,785
資本剰余金	644,092
利益剰余金	3,222,458
自己株式	△11,783
株主資本合計	4,502,551
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	74,413
為替換算調整勘定	△2,352
その他の包括利益累計額合計	72,060
純資産合計	4,574,612
負債純資産合計	6,819,907

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	2,256,228
売上原価	1,715,461
売上総利益	540,767
販売費及び一般管理費	534,689
営業利益	6,078
営業外収益	
受取賃貸料	33,758
その他	3,987
営業外収益合計	37,746
営業外費用	
支払利息	4,088
賃貸収入原価	4,599
その他	411
営業外費用合計	9,099
経常利益	34,724
税金等調整前四半期純利益	34,724
法人税、住民税及び事業税	9,863
法人税等調整額	13,611
法人税等合計	23,474
四半期純利益	11,249
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,249

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	11,249
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	9,795
為替換算調整勘定	△2,352
その他の包括利益合計	7,443
四半期包括利益	18,693
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	18,693

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	34,724
減価償却費	57,370
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,415
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20,515
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3,925
受取利息及び受取配当金	△1,377
受取賃貸料	△33,758
支払利息	4,088
為替差損益 (△は益)	41
売上債権の増減額 (△は増加)	64,246
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△169,774
仕入債務の増減額 (△は減少)	64,148
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△66,351
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	5,131
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	569
その他	3,516
小計	△18,419
利息及び配当金の受取額	1,377
利息の支払額	△3,918
法人税等の支払額	△14,511
営業活動によるキャッシュ・フロー	△35,471
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△14,342
無形固定資産の取得による支出	△1,254
投資不動産の賃貸による収入	33,758
貸付金の回収による収入	430
その他	△3,911
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,679
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△21,250
配当金の支払額	△45,460
その他	△374
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,084
現金及び現金同等物に係る換算差額	△837
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△88,714
現金及び現金同等物の期首残高	330,519
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	25,123
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 266,928

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

当社グループは、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりです。

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数及び連結子会社の名称

- | | |
|-----------|---|
| ①連結子会社の数 | 2社 |
| ②連結子会社の名称 | 上海皆碼嗣電気有限公司
HONG KONG JMACS LIMITED. |

(2) 非連結子会社の数及び非連結子会社の名称

- | | |
|------------|------------|
| ①非連結子会社の数 | 1社 |
| ②非連結子会社の名称 | 上海日芦貿易有限公司 |

(連結の範囲から除いた理由)

非連結子会社は清算を完了し、売上高、当期純損益等は、いずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないためであります。

2. 連結子会社の四半期決算日等に関する事項

連結子会社の四半期決算日が四半期連結決算日と異なる会社は次のとおりであります。

会社名	四半期決算日
上海皆碼嗣電気有限公司	平成29年6月30日
HONG KONG JMACS LIMITED.	平成29年6月30日

(注) 四半期連結財務諸表の作成に当たっては、連結子会社の四半期決算日現在の財務諸表を使用しております。

ただし、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	電線事業	トータルソ リ्यूション 事業	海外事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,221,476	33,393	1,358	2,256,228	—	2,256,228
セグメント間の内部売上高 又は振替高	323	2,468	993	3,785	△3,785	—
計	2,221,799	35,861	2,352	2,260,013	△3,785	2,256,228
セグメント利益又は損失 (△)	118,724	△90,129	△22,516	6,078	—	6,078

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」に記載のとおり、上海皆碼嗣電気有限公司とHONG KONG JMACS LIMITED. を連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントとして「海外事業」を新たに追加しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。